

平成 23 年度富里市地域公共交通会議（第 3 回）会議録

日 時	平成 23 年 11 月 17 日（木） 午前 10 時～	場 所	富里市役所本庁舎 3 階第 3 会議室
出席委員	石橋規委員、飯高貞夫委員、池田和弘委員(池田絵里子氏代理出席)、 内山雅広委員、上草とよ委員、佐々木努委員、丹さく子委員、 米本健二委員(山崎一也氏代理出席)、鵜沢尚夫委員(梅田和也氏代理出席)、 篠崎秀樹委員、田中希生委員、中野善敦委員		
欠席委員	長谷川英利委員		
事務局	林田総務部長、 総務部企画課：中川課長、相川副主幹、栗原主査、池田主査補		
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議題 地域公共交通に関する市民アンケート調査結果等について【事務局説明】 「質疑・意見」</p> <p>【委員】 P.33 の高齢者の交通手段の市内全体の割合を教えてください。</p> <p>【事務局】 路線バスが 25%、さとバスが 7%、タクシーが 18.5%、車(自分で運転)が 37%、車(家族の送迎)が 37%、自転車が 7%、徒歩が 4%となっている。</p> <p>【委員】 バスを利用していない人は 7 割いる。電話で問合せいただいた方には時刻表を FAX しているが、まだ十分に宣伝が行き届いていないと感じる。P.42 の「時刻表があれば利用する」という回答がヒントであり、ルート変更時の時刻表掲載等、行政の広報で協力して頂きたい。</p> <p>【事務局】 協議を重ねながら検討していきたい。</p> <p>【委員】 P.19～26 の地区別の移動施設について、南部地域は移動距離が長く、車を使わざるを得ない。富里市は高齢者の免許返納が少ない理由の一つでもある。移動距離を出すと参考になると思う。</p>		

【事務局】

参考にさせて頂く。

【委員】

10年単位で人口や高齢者などを踏まえて考えていけないといけない。高齢者の日常は分けて議論すべきである。酒々井市のデマンドバスは3,800万円掛かるが、700万円の収入しかないと聞いている。弱者救済も良いが、それも踏まえて議論すべき。

【事務局】

それらを踏まえ、どのようなことが考えられるか検討していく。

【委員】

利用者の経済負担についての視点が抜けている。

【事務局】

市民アンケートで運賃などについても聞いているので、今後議論していきたい。

【委員】

高齢者の免許返納が増えればバスの利用者は増えると思う。そうなれば何らかの負担は必要であると思う。

【事務局】

高齢者の免許返納状況については、資料があるので今後検討したい。

4. その他

【事務局】

次回の会議は支線系統の考え方について、1月下旬を予定している。

5. 閉会

以上